

県政報告
2009夏号



おち あい しん ご

落合慎悟県議

静岡県政に対する
ご意見ご要望を
お寄せください。



今年度は県民委員会副委員長

7月8日 県民委員会県内視察



6月議会常任委員会から副委員長として任務を遂行している。
委員長1名、副委員長2名で構成。
当局側は部長以下約50名の幹部職員が出席。
委員長は委員から10数ある質問を確認し、答弁漏れの内容を記録している。
副委員長は委員長を補佐し、質問は控えめにする。質問ができないことは少し残念。



富士山世界遺産登録活動を調査した。エレベータ付の16戸で3DKの借上料は73,200円で1F38,000円4F56,600円の家賃設定。
建設費1.9億円で補助金1.9千万円20年間の借上。子育て世帯優先入居。



静岡市の静岡油化工業は豆腐のオカラからバイオ燃料を製造している。
遊休農地で薩摩芋を栽培し、杉井酒造で焼酎を作り、搾りかすでバイオ燃料と残渣は肥料になる。



藤枝市水防訓練



水防訓練で初めて敬礼し、挨拶しました。
当日は途中から大雨となり、水防意識を確認。
水防は昔から変わらぬ工法だが、自然の力は想像以上と心している。ゲリラ豪雨に注意。



東京・日本食品工業展視察



千貫堤・瀬戸染飯伝承館
男女共同参画の日

富士山静岡空港開港



6月5日沖縄まで飛んできました。
2時間で沖縄。2泊3日ツアーで4万円余です。
大いに利用して見聞を広めます。



大井川新橋等建設期成同盟会



自民党第2選挙区支部大会



葉梨地区 白ふじの里オープン

島田土木事務所長に要望書

大洲地区の板山川堤防を歩道整備しているが、来年度で終了する。翌年以降も続きを整備して欲しいと要望しました。

近年の税収不足で道路や河川の整備が進まなくなっている。地方分権と共に地方が財源を得るために憲法改正が必要である。



富士山静岡空港内覧会5月



藤枝市グラウンドゴルフ大会



志太経済懇話会 田母神氏講演会

落合慎悟事務所 主催事業



5月31日女性のつどい アフタヌーンコンサート
日頃触れ合うことの少ない女性の方々に少し県政のお話をさせていただき、午後のひと時をフルートやピアノ演奏に耳を傾けてもらえたと企画しました。

エミナースの会場一杯に市内から多くの方が参加してくれましたI部はフルートとピアノ演奏を樽林朋香先生、II部は声楽とピアノ演奏を菅野亜紀子先生、佐藤貴子先生が演奏しました。ケーキを食べながらのひと時でした。



7月15日藤枝街づくり勉強会



藤枝市中心市街地活性化事業が進み駅南は賑わいが出てきました。駅北側・駅前商店街はパリアフリー歩道が完成しても人通りはほとんどありません。

再開発構想もありますが、急激な景気の落ち込みであまり進んでいません。そこで、民間主導で商店街の再開発を成功させ、更に拡大を図っている四国の高松丸亀町商店街の理事長の古川様をお招きし、ご講演と懇談会を行いました。

四月 焼津地区 視察

五月 四国地区 視察

静岡県議会報告 平成21年8月10日発行

静岡県議会議員
いづ わ かい
五輪会
自民党県議一期会

落合慎悟



暑中お見舞い申し上げます。

7月21日県議会が再開され、5月に当選した川勝平太新知事は所信表明で、「現場主義を自らの基本姿勢として、住んでよし、働いてよし、訪れてよし」の「日本の理想郷」を創っていくないと述べられた。

7月24日からの各会派の代表質問や一般質問では、選挙マニュフェスト公約についての質問が多くあり川勝知事は、石川県政の継続と改善を行い更に発展させていくとの答弁があり、選挙時の演説より柔軟な改革姿勢を示された。

最近、道路や河川などだけでなく商工業者や農業経営などの要望や相談が多くなりました。仕事量の減少で雇用調整補助金を利用する県内企業は4月時点で3500社もあり、補助金政策では先行きが見えない。

本気で需要を拡大する景気対策を行わなければ日本の零細企業は淘汰されてしまうだろう。

今年は、商店街と茶業や竹産業の活性化策の取り組みを主体にしていますが、最近要望の多い建設業や製造業の新規需要の研究も取組み、国内や海外の経済情勢も視察し、政策に反映させていきたいと思います。

今後ともご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



8月7日 6月議会閉会

五輪会メンバーと正副議長（中野県議が参加で五輪会は6名）

三島市 浜松市東区 御前崎市 藤枝市 浜松市中区 焼津市
宮沢正美 中沢公彦 藪田宏行 落合慎悟 竹内良訓 中野弘道



浜井議長

堀江副議長



所信表明する川勝平太 新知事

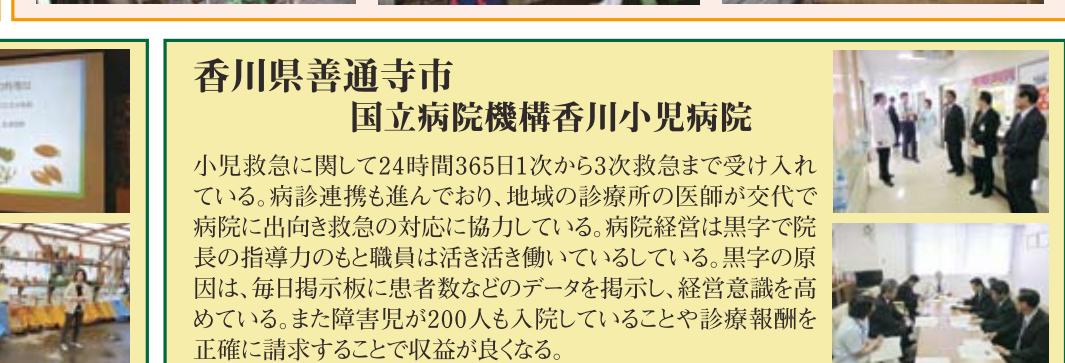


6/16 石川知事が退任挨拶

石川前知事とともに

協焼津水産加工センター

水産物の流通・加工施設の合理化を推進。
排水処理施設・加工残滓処理施設・煮食処理施設等の公害防止のための共同施設のほか、共同給水施設・共同冷蔵庫などを整備した全国有数の水産加工団地が誕生。かつお節類、缶詰、調味品類等の各種水産加工品を製造し、公害のない水産加工団地を運営している。
水産加工センターで作業している人は外国人労働者が多い。



徳島県上勝町 彩事業とゴミゼロ取組

過疎地（限界集落）における、地域活性を叶えつつ新たなビジネスモデルとなった彩事業、みかん等かんきつ類が寒波で大打撃を受ける中、料理のつま物に使用する葉っぱ等（紅葉、柿、南天）を商品化した。地元高齢者を中心に生産管理し、JAにより出荷販売をネットワーク管理した。ゴミゼロ宣言は2003年スタート、2020年までにゴミをゼロにするという決議がされている。町内にごみ集積所は一つもなく、町のゴミステーションに持ち込む仕組み。分別は34種類で、限りなく資源活用に取り組んでいる。



香川県善通寺市

国立病院機構香川小児病院
小児救急に関して24時間365日1次から3次救急まで受け入れている。病診連携も進んでおり、地域の診療所の医師が交代で病院に出て向急救の対応に協力している。病院経営は黒字で院長の指導力のものと職員は活動を働いている。黒字の原因は、毎日掲示板に患者数などのデータを表示し、経営意識を高めている。また障害児が200人も入院していることや診療報酬を正確に請求することで収益が良好である。

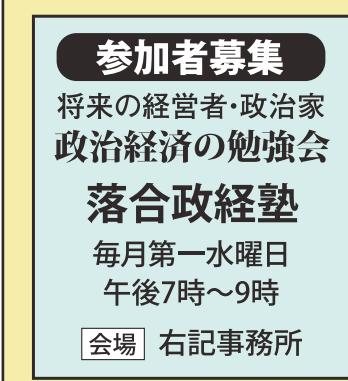


香川県高松市

高松丸亀町商店街再開発事業
以前、四国高松市丸亀町商店街は瀬戸大橋の開通とともに大型店の出店ラッシュで衰退した。若手商店経営者たちが立ち上がり、街を再生させることに成功した。65億の総事業費にもかかわらず、地元商店街の借入負担は2.7億円であった。国の補助金を利用した民間主導の事業である。内容は、定期借地権を活用した土地の所有と利用の分離による民間主導型の再開発事業。商店街の住人口を増やし、来客を増やすことにも成功している。



高知県四万十市 土佐くろしお鉄道株
四万十川で有名な中村駅に事務所がある。高知市からの高速道路の開通で車に乗り換える客が多くなり、乗車率は低下している。しかし、通学や通勤には欠くことのできない交通手段であり、様々なイベント企画や旅行企画、子供向け無料乗車券（夏休み）など趣向を凝らすとともに、地域とのつながりを強く地域住民に支えられている。経営努力や人員の合理化でピーク時に比べ人件費は1億2千8百万円削減。



参加者募集
将来の経営者・政治家
政治経済の勉強会
落合政経塾
毎月第一水曜日
午後7時~9時
会場 右記事務所
落合慎悟事務所
〒426-0031 藤枝市築地838
TEL 054-645-8100
FAX 054-645-8111
メール s.o@thn.ne.jp
<http://kaiteki.jp/>



7月18日エミナースで「ユーモード21」が主催でコンサートがありました。コンサートの後に茶会を行い、私のお手前で薄茶を点てました。何年もお茶のお稽古から離れていますので緊張しました。